

第16回学長カフェ【2020.11.11】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
国際観光	1	公認団体の新規設立について 公認団体の新設については例年4月に申請となっているが、今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、公認団体の新規設立は状況を見極めながら検討すると聞いている。部活動やサークル活動が再開されているが、新規設立はできないのか。	学生課 認識していただいている通り、公認団体の新規設立は毎年4月に行われる継続申請と同時期に行っており、今年度は、学生会及び学生委員会にて安定的・継続的な活動が不透明であることから、新規設立を認めないこととしておりました。現在においても、「学生生活が通常」には戻っておりませんので、これまでの方針通り、今年度の新規設立は見合わせることにします。	コロナ禍で公認団体の活動も自粛している状況であれば新規設立も難しいと思いますが、現状、公認団体の活動も制限付きで許可しているので新規設立を期中に認めるかは、学生会や学生委員会で検討し、今後の対応を考えたいと思います。
	2	大学グラウンドの整備について グラウンドの雑草が多く、活動できるエリアが限定される。グラウンドの整備をしてほしい。	学生課 定期的に除草作業を実施してまいります。	現在グラウンドとして使用している場所は大雨の際の「貯水池」となっており整備することは、衛生上も現実的ではないと考えています。学内他のスペースを検討していますが、予算の問題もあるため、直近での対応は難しいと考えています。
	3	[アンケートより]授業について Zoomでの授業は対面授業と異なり、周囲に友人もいない為、聞き取れなかった言葉や分からなかった部分をすぐに確認することができず、特に漢字圏でない留学生は授業の内容を理解できずにいる。授業が理解できていない状況でレポートの提出を求められる為、何を書いてよいのかわからず困っている。	教務課 遠隔授業は録画がされており、何度でも繰り返し視聴することができます。また、現在は先生の研究室に訪問することもできますので、積極的に先生に相談してください。	Zoom配信ではそのようなことが起こるのかもしれませんが。教員にはそのようなことが起こっていることを伝えますが、録画があると思いますので、それを使ってその個所を見直し、再確認していただければと思います。
	4	[アンケートより]新規団体について 新規団体の申請については常に申請できるものであるのではないのか。過去にも数回申請の依頼をした団体があるが却下されているものがある。却下された明確な理由を教えてください。また、4年生にとっては申請はラストチャンスであり、卒業までに心残りを解消したいという気持ちを理解してほしい。	学生課 認識していただいている通り、公認団体の新規設立は毎年4月に行われる継続申請と同時期に行っており、今年度は、学生会及び学生委員会にて安定的・継続的な活動が不透明であることから、新規設立を認めないこととしておりました。現在においても、「学生生活が通常」には戻っておりませんので、これまでの方針通り、今年度の新規設立は見合わせることにします。	今年はずでに12月に差し掛かろうとしているため、時期的にも無理ですが、4月になれば申請を受け付けます。規定に従って採否を判断いたします。
	5	[アンケートより]部活動について ソフトテニス部のコートにてライトが当たらない場所があり、暗くなるとボールが見えず困っている。	総務課 業者と現地確認しました。今後対応予定です。	検討し、整備できるものはしたいと思います。
社会福祉	6	減免制度について 減免の基準がよく分からない。成績が前年とあまり変わらないのに、減免のランクが下がったりしている。減免制度の評価基準を教えてください。	学生課 学業による特待及び減免については、毎年3月に各学科が協議した案を基に学生委員会にて決定しています。成績の基準は主にGPAを利用した学年順位による相対評価としていますので、例えば、GPAの値が昨年度と同等でも、学年順位が低下していれば、特待及び減免の区分が下がる可能性があります。	学生の好き嫌いなど不公平に評価することがあってはなりません。本学ではきちんと基準を設けて評価をしています。試験の結果、何点以上で評価しているのではなく、GPAの順位によって評価しています。この事を他の学生の皆さんにも伝えてください。
	7	トイレについて トイレの「音姫」の音が切れかかっているところがある。また、ウォシュレットがないところある。トイレの改修をしてほしい。	総務課 電池が切れている場合は都度対応するようしておりますが、再度徹底致します。ウォシュレット化は逐次進めていく予定としております。	今年度実施しようと検討していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、予算上コロナ対策を最優先としたため実施ができませんでしたので、来年度以降対応できるよう検討していきます。また、衛生環境についても大学として重要な問題と認識しています。
	8	教員との距離感について 挨拶をしても目も合わせてくれない教員や挨拶を返してくれない教員がいる。一方で、学生と一緒に車に乗り合わせるなど、距離が近すぎると感じる教員もいる。教員と仲良くなりたい気持ちは誰にでもあると思うが、距離が遠すぎたり近すぎたりするのはいかがかと思う。	各学科長 【国際観光学科】 挨拶に関しては、そのような場面を見かけたことはないが、散見されるよであればホスピタリティを建学の理念に掲げる大学の教員としてあるまじき行為だと思うので、注意喚起をしていきたい。また、節度を持った教員と学生の関係を保つことに異議はないが、例としてあげられた車への同乗に関しては、研究活動の一環として教員と学生が観光施設、自治体、企業に出向くなど、必要に応じて行うゼミがあることを理解いただきたい。 【社会福祉学科】 挨拶というのは人間関係の基本で、教員かどうかという以前の問題だと思います。会議等で取り上げ、教職員、学生の双方が気持ちよく過ごせる環境づくりと、その基本である挨拶の徹底を周知していきたいと思います。教員と学生の距離感や関係性についても、教員が各自の立場を自覚したうえで適切に対応するよう促していきたいと思います。また、この点について教員内でも話し合いの機会を持ちたいと思います。 【健康栄養学科】 挨拶はコミュニケーションの基本となりますので、学生、教職員全員が積極的に行うべきものと考えます。本学では、よく挨拶が行われている印象です。また、学生との距離感については、教養セミナー、卒業研究担当学生とは接する機会が多くなりますが、学生と教員という適度な距離を保ちつつ対応をしています。 【薬学科】 挨拶に関しては、学部の会議で先生方に伝えます。距離感については、個々人(学生および教員)の性格などにより捉え方が異なるため、一律にすることはできないと思います。ただし、節度ある距離は保たなければいけないので、ハラスメントと思われる場合は、各学科のハラスメント相談員(大学HPにも掲載)にご相談ください。	教員が挨拶をしないことは言語道断であると考えます。必ず全学教授会で伝えます。また、距離が近すぎる問題で指摘をされた行為に関して、一概に悪いとは言いきれませんが、学生が嫌がっているのに強制的に行うことはあってはならないと考えます。そういう状況を目撃したり、聞いたりしたらすぐに教えてください。

第16回学長カフェ【2020.11.11】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
		<b>教員の対応について</b>	<b>教務課</b>	
	9	教員によって、履修登録等の対応に差があるので統一してほしい。	この事によって、自身の履修登録に支障が出るようでしたら、教務課に相談してください。	この問題も学生にとっては不利益になってはならないと考えます。授業アンケート等に必ず記載したり、事務局に相談したりしてください。
		<b>授業について</b>	<b>教務課、大学評価・IR室</b>	
	10	前回の学長Caféに参加し意見や要望を述べてから、教員の授業に対する姿勢がものすごく良くなっている。そのため、やる気のない教員が目立っている。国家試験や実習などある中で不安になっている学生もいるので、どうかしてほしい。	<p><b>【教務課】</b>                      本学では授業改善を継続的に行う為、毎学期授業アンケートを実施しています。是非このアンケートを活用し、要望等を記載してください。緊急性のある場合は教務課に相談してください。</p> <p><b>【大学評価・IR室】</b>                      教授会において、理事長、学長より全先生方にコロナ禍における授業の在り方等については授業改善を求めています。また、後期は授業アンケートを実施し、各学部で学生の授業アンケートの結果をもとに改善の必要がある科目は学部長と面談を行います。従って、授業アンケートには、改善要望や困っていることなどできるだけ記載して下さい。</p>	前期は、Zoom等を利用した授業展開が多くの教員にとって初めての試みであったため、通常の対面授業と比べ学生の皆さんが満足のいかない授業があったかもしれません。しかし、先生方の努力、創意工夫により後期に入り少しずつ改善していると思っています。このような学生の皆さんからの意見は非常に重要ですので、今後も気になることは授業アンケートを利用させていただきたいと思っています。その中でも、改善が見られない場合や目に余る内容のものは、担当の教員へ直接注意したいと思っています。
		<b>授業体系について</b>	<b>教務課</b>	
	11	対面と遠隔の授業が合わさっているため、移動時間と遠隔授業が重なってしまうことがある。	移動時間と遠隔授業が重なった場合は、大学で遠隔授業を受講してください。	国より、全授業の50%以上を対面授業にするように方針が示されました。そのため、現状では対面授業と遠隔授業が組み合わさって展開されています。移動時間中に遠隔授業が重なってしまうことは従前より想定されていましたので、学内でも1101教室や図書館などで遠隔授業を受けられる場所を準備しています。そちらを利用し対応してほしいと思います。
健康栄養		<b>試験結果発表後の対応について</b>	<b>教務課</b>	
	12	試験後は点数や評価などしかなく、自分がどこが間違えているのか、なぜ間違えているのかが分からない。解答や解説をしてほしい。	科目毎の評価に対する疑義については、教務課に申し出てもらえば担当の先生に説明を求めます。試験の解答や解説(定期試験)については、個別に先生方に問い合わせてもらえればと思います。	テストの回答や解説は試験後に学生に開示すべきであると認識しています。また、文科省からもそのように言われていたと認識しています。
		<b>学生からの意見や要望の収集について</b>	<b>学生課</b>	
	13	学長Caféに参加し意見や要望を直接伝えられることは大変ありがたい機会だが、参加者や参加者の友人などの意見や要望のみとなり、全学生からの意見や要望とはいい難い。そのため、研究棟などに意見箱などを設置し、広く意見を収集できないか。	本学には、「学生会」という学生全員が所属している団体があります。学長Caféにもその代表が毎回参加するようになっていきますので、学生間で情報の集約や調整を検討して下さい。	広く意見を聞いて、少しでも学生にとってより良い大学にしていきたいと思っています。
		<b>学長Caféのフィードバックの方法について</b>	<b>学生課</b>	
14	毎回、マナバなどで学長Caféで出された意見や要望とそれに対する回答があるが、進捗状況が分かるものがない。進捗状況が分かる資料等を提示してほしい。	これまで、学長Caféで出された要望について「改善」や「実績」のみを提示してきましたが、確かに進捗状況をお示ししていませんでした。これまでにいただいた要望等案件の整理を含めて検討いたします。	担当部局(学生課)より、回答いたします。	
	<b>実習先の決め方について</b>	<b>健康栄養学科長</b>		
15	健康栄養学科では実習があり、希望の実習先の調査を行い、実習先を決めている。希望する実習先の募集人員を希望人員が上回る場合、くじ引きで決められ、希望する実習先に行くことができず納得ができなかった。他学科ではどのようにされているのかお聞きしたい。	<p>健康栄養学科では、3年次4年次それぞれ、臨地実習Ⅰ・Ⅱ、及びⅢ・Ⅳで各2週間の臨地実習を履修しております。</p> <p>例年、実習先を決めるにあたっては、希望する実習施設種別(病院、社会福祉施設、児童福祉施設、事業所等)について、該当学生全員に調査を実施します。その結果を基に、本学が過去に実習を受け入れていただいた施設や新規施設に受け入れをお願いしながら、可能な限り学生の希望に沿う実習施設を割り当てております。</p> <p>今年度は、コロナ禍で受け入れ先が十分に確保できず、例年と比較し、学生の希望を満たすだけの施設数がなかったかもしれませんが、最終的に実習先を決定する際には、学生の意向を確認しております。</p> <p>今後も、学生が十分な臨地実習を受けられる環境を整えていきたいと思っています。担当教員としても、他学科での実習先決定方法などご教授いただければ幸いです。</p>	実習先を決めるにあたって、まずは学生の話聞き、それでも募集人員を希望者が上回った場合は、抽選にするなどの対応をすることになると思います。	

第16回学長カフェ【2020.11.11】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
薬		<b>対面授業について</b>	<b>教務課</b>	
	16	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、遠隔授業が行われ期間限定ではあるが授業を見返し復習もできるとも助かっている。対面授業でも遠隔授業と同様に期間限定でも構わないので、録画して復習できる環境を作してほしい。	今回、遠隔授業を実施したことで、学生の皆さんにとって良い面と悪い面があることがわかりました。新型コロナウイルス感染症が終息した後、対面授業が主流となったとしても、録画視聴等を含む遠隔授業の良い面は継続できるか検討します。	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、Zoomという新たな手法での授業形態が生まれ、新たな発見もありました。繰り返し視聴できるという遠隔授業の良さを対面授業でもできるか検討を進めていきます。
	17	<b>新歓祭について</b> 今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、例年4月に開催している新歓祭が中止となり、新入生の入部がなかった。どのような活動をしているかを新歓祭で演舞したり伝えたりして興味を持ってもらうため、来年も今年と同様な方法になると公認団体としての存続も危ぶまれる。来年は何かしらの方法で開催もしくは代替の方法で、知ってもらう機会がほしい。	<b>学生課</b> 公認団体への登録学生数については、今年度の1年生・2年生を比較するとほぼ同数となっているようですが、その内訳は文化部・文科系サークル・同好会で減少しています。来年度においても通常の新歓祭の開催が不安定であることから、学生会を中心に新しいプランの検討を望みます。	今のままでは部活動・サークル活動の存続の危機であると思います。学生会が主体となり検討を進めてほしいと思います。
	18	<b>遠隔授業について</b> 薬学科では、1教室だと密になる観点から学籍番号の奇数と偶数で教室を分かれ、隔週で対面授業と対面授業を行っているものとなりの教室で見ながら授業を受ける遠隔授業がある。大学に出てきてまで遠隔授業を受ける必要があるのか。	<b>教務課</b> 自宅等で遠隔授業を受ける場合については、学生の皆さんがどのような態度で授業に参加しているかが判断しにくい場合が多々あります。また、今年度前期のように、ほとんどの科目が遠隔授業となったことでストレスを抱える学生もいることから、できる限り大学に登校して仲間と授業を受ける機会を増やそうという意図があつてのことですので、理解ください。	担当教員が、学生にとって最も良い授業形態を模索し考え抜いたやり方だと思います。担当教員の熱意と捉えてほしいと思います。
19	<b>中間考査について</b> 授業も折返しに近づき中間考査が行われるが、日程が過密である。もう少し余裕がほしい。	<b>教務課</b> 試験の日程については、先生方も十分に考えて設定しています。このような意見が多くでるようでしたら再考を依頼します。	今後の事も考え調整した日程だと思います。もし、同様の意見が多数出てくるようであれば再検討する必要があると考えています。	